

研究課題番号	2FS-2001
研究課題名	短寿命気候強制因子による気候変動・環境影響に対応する適応・緩和策推進のための調査研究
研究実施期間	令和2年度～令和2年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	竹村 俊彦

1. 委員の指摘及び提言概要

本研究は戦略的研究開発 S-20 のフィジビリティスタディ(事前研究)である。S-20 の立ち上げに成功したのみでなく、独自の科学的成果もあげており高く評価する。短寿命気候強制因子 (SLCFs) に係る気候変動影響・環境影響について、多方面にわたるサブテーマを設定して、全体研究の方向性や体制分担の有効性の検証など、期待される研究成果を上げた。並行して、IPCC、APCAP、CCAC への貢献とメディア発表も推進できた。

今後、既に開始されている S-20 課題でさらに成果を挙げ、定量的な科学的知見が国際的枠組で貢献できるよう、政策決定者との密な連携も期待する。

2. 採点結果

評価ランク : S